



日本笑い学会関東支部オンライン研究会



1部 コロナ禍のお笑い、及び、お笑い文化

2部 コロナ禍の日常生活のなかの笑いとユーモア

【講演概要】

1部 コロナ禍のお笑い、及び、お笑い文化の現状についての報告と、今後についてを考えます。メディアからも芸人たちの悲痛の叫びは情報として私たちに入ってくるものの実際はどうかの。あるいは、このような状況のなかでお笑いのファンはどのような態度を示すべきなのだろう、政府にはどんな手当てを求めればいいのかなどのいくつか切り口からコロナ禍のお笑いとお笑い文化の検討を行う。

2部 コロナウィルスの影響で、日々、ストレスフルな生活が強られる私たちの日常生活のなかの笑いやユーモアについて注目する。こうした状況になかで、笑いとユーモアには意味や意義があるのだろうか。コロナの影響で何か変化があったのだろうか。それらをふまえ笑いやユーモアを今後どのように活用すべきか、また、そこに、どのような問題があるのかについて対談を行う。



講師：矢島 伸男 氏

(お笑いコンビ オシエルズ/FUNBEST代表/埼玉医科大学短期大学・非常勤講師/日本笑い学会会員)



講師：瀬沼 文彰 氏

(西武文理大学サービス経営学部・専任講師/元芸人/日本笑い学会・理事)

2020年5月16日(土)

1部 14:30~15:10

2部 15:15~15:55

(14:15より入場可能。
途中からの入退場自由です)

Zoomを使用したオンライン形式の研究会です。

興味のある方はメールにてお問合せ下さい。参加方法をお知らせ致します。

会員無料 (非会員の方も今回は無料)

主催：日本笑い学会関東支部 お問い合わせ先：un_ei-01@warai-kanto-0808.org